



「食」を通じて消費者と社会に貢献する リーディングカンパニー 伊藤忠食品株式会社

2004年3月期
中間決算説明会

2004年 5月20日

本資料は、2004年3月決算の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。また本資料掲載の事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更することがあります。本資料は、2004年5月18日現在のデータに基づき作成しております。

1. 2004年 3月中間期の業績

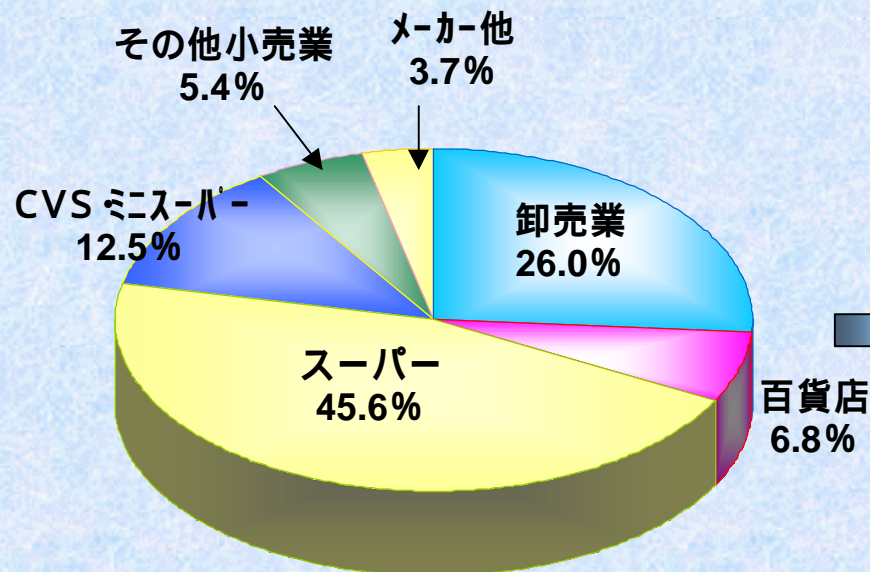


	金額 (億円)	売上比 (%)	前期比 (%)	計画比 (%)
連結売上高	2,558	100.0	105.7	101.5
(単 独)	(2,459)	(100.0)	(105.9)	(101.5)
連結売上総利益	255	10.0	104.1	
(単 独)	(232)	(9.4)	(104.6)	
連結営業利益	28	1.1	105.2	105.7
(単 独)	(27)	(1.1)	(104.6)	(106.5)
連結経常利益	31	1.2	104.6	107.4
(単 独)	(30)	(1.3)	(103.4)	(108.7)
連結当期純利益	16	0.7	108.9	107.1
(単 独)	(16)	(0.7)	(106.2)	(107.5)

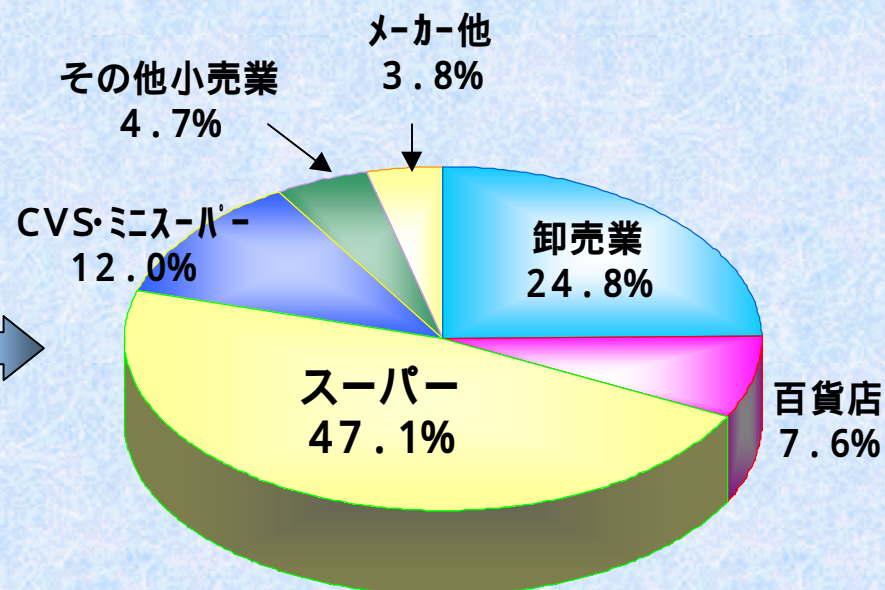
2 (1). 【伊藤忠食品 中間売上レビュー】

業態別売上高構成比 %】

前中間期】



当中間期】



【連結業態別売上高の前期比較】 前期比 +136.8 (単位:億円)

卸 +6.5 百貨店 +29.8 スーパー +98.7 CVS・ミニスーパー +4.3 その他小売 9.8 メーカー他 +7.2

(主な要因) ・大手量販店の新規出店、酒類免許取得店の増加及び地域スーパーとの取引増加

・大手百貨店による仕入先集約化

・CVS取引の下げ止まり

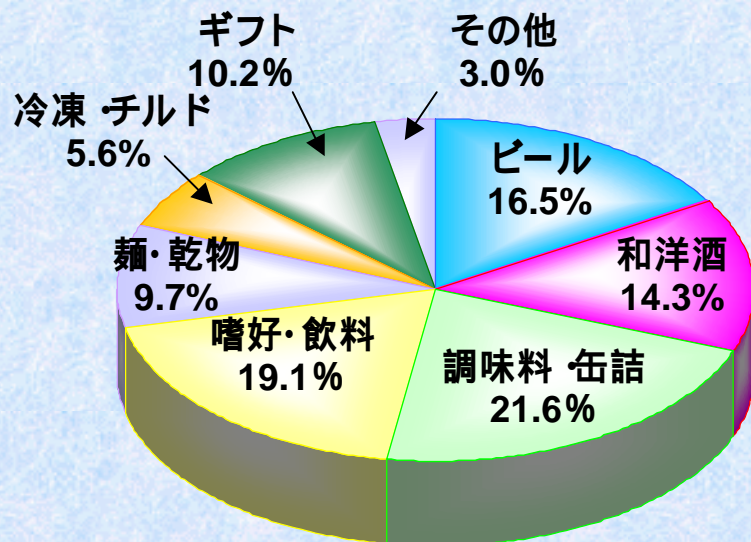
・業務用卸との取引増加及び外食産業との新規取引開始

物流収入の増加 (前期 55.3 61.2)

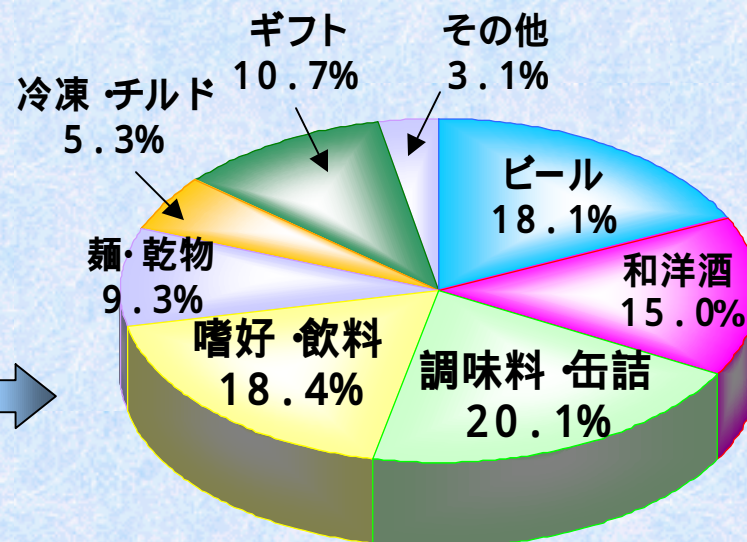
2 (2). 【伊藤忠食品 中間売上レビュー】

【商品別売上高構成比 %】

【前中間期】



【当中間期】



酒類 (含 :ギフト) 構成比 38.5% (前期 35.7%)

・ビール 前期比 111.4% } 平均 115.7%

発泡酒 前期比 121.1% }
[発泡酒比率 45.8% (前期 43.8%)]

和洋酒 前期比 110.6%

焼酎 (130.9%) 、カクテルドリンク (116.3%) 、雑酒 (284.5%) 増

食品 (ギフト、その他を除く) 前年比 100.2%

販売単価・物量 (c/s) の推移

	物量	単価
酒類	110.6%	102.8%
食品	104.9%	95.9%
合計	103.6%	99.2%

単独 総売上ベース (除、返品・値引)

3. 【伊藤忠食品 中間利益レビュー】



【連 結】

	売上総利益	営業利益	経常利益	当期純利益
当 期	255億円	28億円	31億円	16億円
(売上比)	10.0%	1.1%	1.2%	0.7%
前 期	245億円	27億円	30億円	15億円
(売上比)	10.1%	1.1%	1.3%	0.6%

【連結利益の前期比較】

売上総利益】

- ・ 売上増加に伴う利益額増加
- ・ 物流収入の増加
- ・ 酒類売上増加による商品粗利率低下

営業利益 経常利益】

- ・ 売上増加に伴う物流費増加、人件費減少
- ・ 一括物流センター採算改善

当期純利益】

- ・ 投資有価証券等評価損の減少
- ・ 法人税等増加

4. 重点施策

外食産業への積極的なアプローチと
物流・マーチャンダイジング (MD) 提案力の強化

全温度帯物流機能の充実と
一括物流受託の継続推進

高利益商材の開拓と明確なメーカー戦略の確立

ギフト商圏の拡大と新たなギフト商材の発掘

5.中期目標

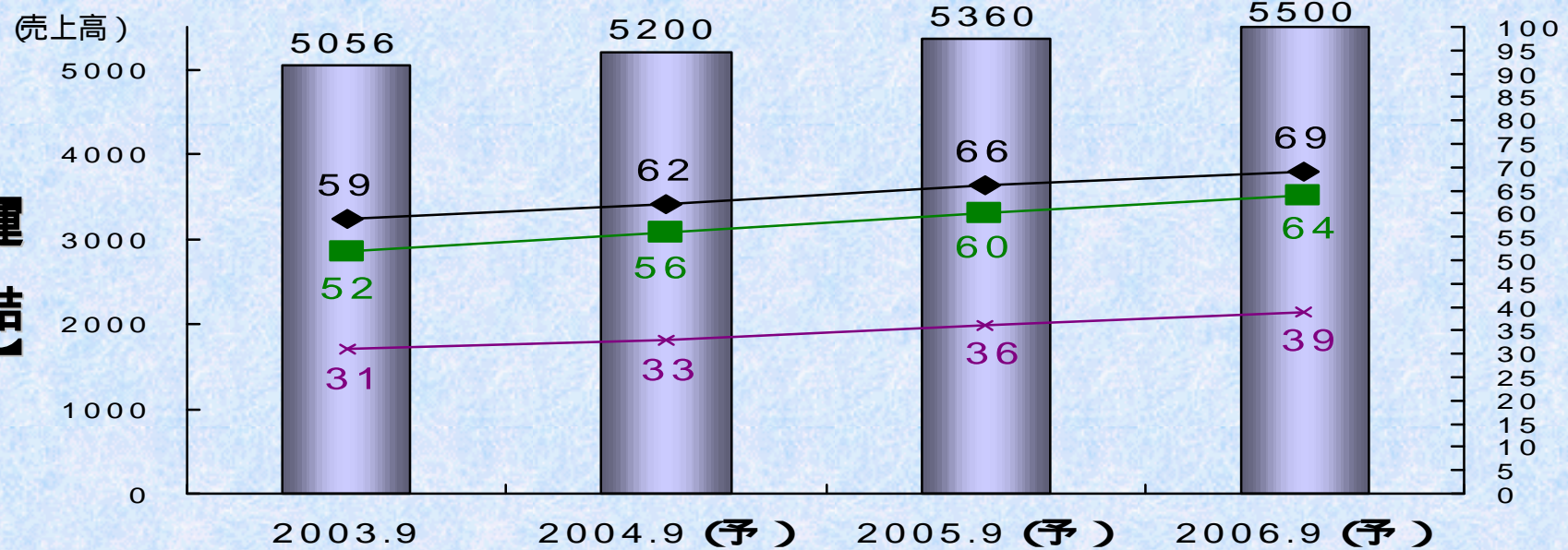


(億円)

売上高 営業利益 経常利益 当期純利益

(利益)

運結



単体

